

## 議事録（要旨）

会議名称	第1回 葛飾区リサイクル清掃審議会
開催日時	令和元年8月28日（水） 午前9時から午前11時まで
開催場所	葛飾区役所 5F 庁議室
出席者	（審議委員9名） 崎田会長、朝倉会長職務代理者、庄司委員、秋山委員、杉野委員、谷茂岡委員、大沢委員、佐々木委員、谷本委員
欠席者	大山委員
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会、委嘱状の交付</li> <li>2 区長あいさつ</li> <li>3 会長及び会長職務代理者の選出</li> <li>4 区長から審議会への諮問</li> <li>5 配付資料について</li> <li>6 審議             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 23区及び葛飾区の清掃事業の現状について</li> <li>(2) 今後のスケジュールについて</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> </ol>
会議資料	資料1 諮問文 資料2 葛飾区リサイクル清掃審議会委員名簿 資料3 葛飾区リサイクル清掃審議会スケジュール 資料4 葛飾区一般廃棄物処理基本計画 審議会資料 資料5 葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）改定版 資料6 葛飾区ごみ減量・リサイクルの取組 令和元年度版 資料7 葛飾区一般廃棄物処理基本計画及び審議会に係る例規抜粋

発言者	審議内容
事務局	<p><u>1 開会・委嘱状の交付</u></p> <p>おはようございます。定刻となりましたので、第1回リサイクル清掃審議会を開始いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。私は、審議会の事務局を務めます、リサイクル清掃課長の柿澤と申します。審議会の会長が決まるまで司会進行を務めます。初めに、審議会の開催に当たり、委員の委嘱を行います。青木克徳葛飾区長より委員の皆様へ委嘱状の伝達をいたします。</p> <p>私が皆様のお名前をお呼びしますので、呼ばれた方は席でお待ちいただき、区長から委嘱状をお受け取りください。</p> <p>—青木葛飾区長より各委員へ委嘱状の伝達—</p> <p><u>2 葛飾区長挨拶</u></p> <p><u>3 葛飾区長より「一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について」諮問</u></p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>青木区長におかれましては、この後公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>—葛飾区長退室—</p> <p>それでは、審議会を進めます。</p> <p><u>4 会長及び会長職務代理者の選出</u></p>
事務局	<p>本審議会会長及び会長職務代理者の選出をいたします。葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する規則に基づいて委員の皆様の互選により決定します。推薦等ありますか。</p>
F 委員	<p>僭越ですが、A委員を推薦します。A委員は私たち生活者の視点で環境問題やエネルギー問題、特に持続可能な循環型社会について取り組んでおり、様々な委員会にご出席しています。葛飾区についても区内の地域のことや区民のことをよく御存じなので、A委員に代表をお願いしたいので、推薦いたします。</p>

事務局	皆様よろしいでしょうか。  ——同拍手——
事務局	それでは、A委員。会長席にお移りください。 続いて、会長職務代理者の選出をしますが、A委員からどなたかご氏名の方はいらっしゃいますか。
A委員(会長)	はい。10年前に開催された葛飾区リサイクル清掃審議会においても会長職務代理者を務めていただきましたB委員にお願いしたいと思います。 B委員は環境マネジメントや協働コミュニケーションが専門です。よろしくお願ひいたします。
B委員	はい。よろしくお願ひいたします。  ——同拍手—— ——事務局紹介—— ——会長及び会長職務代理者から挨拶—— ——各委員の自己紹介——
A委員(会長)	本審議会は、令和3年度を始期とする第4次葛飾区一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて「一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について」区長から諮問を受け、審議を行うものです。 令和2年6月に答申を出す予定であり、今日を含めて全7回開催いたします。1回目・2回目の日時は決定しておりますが、3回目以降の日時については随時決定いたします。 今日は葛飾区の廃棄物処理全体の現状と課題を把握して、第2回以降は重点課題など、区が課題として感じている「食品ロスの減量対策」「資源類の分別推進」「家庭ごみの有料化」について、議論を進めていきます。今日は資料を基に事務局から現状を説明いただき、皆様から課題等のご意見をいただく日にしたいと思います。 進め方についてご意見あればよろしくお願ひいたします。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
A委員	進行に関してご意見ある場合はいつでもおっしゃってください。

	<p>それでは、23区及び葛飾区の清掃事業の現状と課題や、清掃事業の仕組み、これまでのごみ減量に関する取組み、ごみ量の推移などについて事務局から説明をお願いします。</p> <p>—資料4に基づき事務局から説明—</p>
A委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>ごみは減少傾向にあるが、目標はまだ達成していないので、継続して減らしていく必要があること、また、資源化に関してはリサイクル率が23区平均以下であり燃えるごみの中にも資源物が約20%入っており、さらにきちんと分けることが課題であることが読み取れました。</p> <p>細かい内容については次回以降しっかりと審議をしますが、みなさんから質問はありますか。</p>
B委員	<p>施策が実施されているかどうかチェックすることが一番重要だと思います。しかし、「未実施」や「一部実施」の施策については、なぜ実施できなかったのかという「Why」の部分が非常に大切です。その理由を共有できればと思います。未実施の部分に関しては、未実施の理由を事務局から一言いただければと思います。以上です。</p>
A委員	<p>特に未実施の施策、もしくは実施率が低い項目に関して、原因と課題を明確にして、次回の審議に使う資料の作成を事務局をお願いします。今後に向けては、必要な資料を追加したほうが議論に役立ちますので、ご意見やご指摘などもいただきたいと思います。</p>
H委員	<p>事務局からの説明で、葛飾区の土台がわかりました。大変参考になりました。「食べきり使い切りコンテスト」は、今後どのような手法でこのコンテストを行う予定なのか教えてください。また、「葛飾区ごみ減量の日」が決められていますが、ほとんどの家庭で知られていません。生ごみ減量のために水分を絞りきること、食べきることがごみ減量に役立つということが知られていません。課題としては、開発活動を様々なイベントや学校教育の中で実施していくことです。それについて今後審議できればと思いました。</p>
A委員	<p>次の検討課題になっている食品ロスについては、環境学習で子どもたちに伝えることも大切です。質問いただいたとおり、葛飾区ごみ減量の日「いつ」「どんなこと」をやっているのか、また食べきり使い切りコンテストはどのようなコンテストなのか教えてください。</p>

事務局	<p>ごみ減量の日は、毎月5日として策定しました。</p> <p>かつしかFMと広報紙でお知らせしています。内容は、毎月5日に冷蔵庫の中の食材等のチェックをし、無駄のないように使いましょうというものです。「食べきり使い切りコンテスト」は、次年度から実施予定であり、皆様から書類でレシピの工夫等をご紹介していく形で考えています。詳しいことは次回資料をそろえてご紹介します。</p>
A委員	<p>食品ロスに関しては、各自治体で様々な企画をしています。始まったばかりなので、情報共有をしながら効果的な施策を定着させていければと思います。</p>
G委員	<p>話の視点を変えて、ごみ問題の地域特性について議論したいと思います。G委員は収集に関する地域特性や対処方法などについて、収集の仕事をしている中で感じることを教えてください。</p>
G委員	<p>我々は他の区でも収集していますが、葛飾区は全体として集積所がきれいだと認識しております。水元公園のそばはカラスの被害が多くて結構あちこちからお話を聞いています。街中もあえて集積所を設置しないで収集をしており、相当効果があると思っています。葛飾区は下町のいい文化が残っている部分があります。集積所にほうきとちり取りがぶら下がっていたり、気が付いた方が清掃をされていたり、そういうところに関してもいい文化が残っていると思います。以上です。</p>
A委員	<p>今、お話しいただいた「下町ながらのいい文化」が残っているところは続けて頂いて、正しい分別や周囲をきれいにする流れが続いてほしいです。区の集積所がきれいですと言っただけでうれしいです。カラスの話は東京全体ではかなり収まったという印象を持っていたのですが、まだまだ課題のところもありますか。</p>
G委員	<p>そうですね。カラスも随分勉強しているので、ネットを軽く剥がして突っついていることもあるのですが、葛飾区の場合、プラスチックごみの翌日が可燃ごみという収集方法になっているので、カラスもなかなか突っつけないと思います。それがきれいになっている一つの要因かと思います。</p> <p>ごみ減量は一番の課題だと思いますが、住民の感覚として、ごみ問題はあまり意識されていないと思います。何のためにごみを減らすのかが大切であり、一番のターゲットは食品ロスです。買ってそのまま捨てられ</p>

	<p>る食品が非常に多いことが問題になっています。</p> <p>ごみの発生抑制は、使いすぎている・買いすぎている・便利にかまけているというライフスタイルの見直しに繋がっています。</p> <p>ごみになる前にいかに減らすかという視点から、一般廃棄物処理基本計画を考えなければなりません。</p> <p>また、23区や全国において事業系ごみが減っていません。事業系ごみをいかに減らしていくかが問題です。家庭ごみについては組成調査をしています。事業系ごみについては組成調査をしていません。事業系ごみにおけるターゲットも食品ごみです。食品ごみは、飲食店や製造業、サービス業、販売店での包装ごみも含まれると思います。こうしたことを理解して事業系ごみをいかに減らすかを考えることが大切です。</p>
A委員	<p>地域の皆様がごみに関心を持ち、きれいに出し、減らすことは、非常に定着してきました。しかし、今一度、自分たちの暮らし方や仕事の仕方を考えながら、ごみを減らせる社会を作っていきましょう。</p> <p>大きな転換期にあると思いますので、ごみ減量や資源化の意味や方法を地域の皆様に考えていただかなければ、ただ施策を作ったというだけではなかなかごみ減量や資源化は進みません。</p> <p>今のC委員の話の中で、ごみを何のために減らすのかしっかり考えてほしいというご意見がありました。また、事業系ごみは家庭系ごみとつながっている部分もあり、お互いに協力すると全体的に減っていくということがあるので、一緒に考える必要があります。</p> <p>次回以降また意見交換をしていきますが、最後に今日の感想をお願いします。I委員いかがですか。</p>
I委員	<p>集積所の話です。私の身近にある集積所は機能していないところがあります。転入時と転出時の告知ができていないと思います。先ほどの説明にも、外国人の居住者が増えているという話がありましたが、区では転入転出の際に何を渡して説明しているのでしょうか。手続きについて教えてください。</p> <p>また、C委員の話を聞き、家庭ではごみになるものはなるべく買わないようにしないといけないと改めて思いました。</p> <p>集団回収については、実際に子ども会に参加していても夏は子どもが全く来なかったことがあります。集団回収が減っているのは事実ですが、果たして末端回収を増やすことがコストに見合うのでしょうか。町会などの地域の結びつきが希薄になっている中、現状に見合わない議論になってしまうか心配です。</p>

	<p>転入転出時の話と集団回収の状況については、事務局で資料作成をお願いします。E委員とF委員はよろしいでしょうか。</p>
E委員	<p>この会議は、葛飾区の減量に限定するのか、広く議論するのか、どちらでしょうか。</p>
A委員	<p>施策としては、葛飾区の仕組みづくりです。</p>
E委員	<p>対象があまり大きくなると、堂々巡りになりますので、葛飾区のごみに特化した項目で審議しないと、結論が出づらと思います。</p>
A委員	<p>はい。社会全体の議論を踏まえ、区の仕組みをつくっていきます。</p>
F委員	<p>区民も行政もごみ減量について前向きなので、葛飾区は進んでいる自治体だと思います。発生抑制についてどう考え、今後循環型社会を実行していくか、皆さんの意見を持ってきてください。</p> <p>資源ごみについては、雑紙の問題があります。雑紙はしっかり分けて出せていません。現場で意識できていないので、燃やすごみに入れてしまいます。雑紙を資源に正しく分ける方法があれば、細かいことから一つずつ目標を立てていきたいと思います。</p>
A委員	<p>できるだけ具体的に議論していきましょう。雑紙についてもご指摘がありましたので、資源回収に関する資料を事務局は用意してください。</p> <p>D委員、ご意見等ありますか。</p>
D委員	<p>大丈夫です。</p>
A委員	<p>皆様、積極的にご意見いただきありがとうございました。</p> <p>次回からの審議に向けて事務局は準備をお願いします。また、皆様からご知見いただこうと思います。</p> <p>今日は初日ということで、現状と課題を共有しました。これで葛飾区リサイクル清掃審議会を終了します。ありがとうございました。</p>